

【学習テーマ】

本ケースを通して受講者が、保健室の機能や養護教諭の仕事を理解するとともに、現代の子供達の健康課題が多様化・複雑化していることを理解する。さらに、貧困の中で生活する子供が身近にいること、貧困が健康に大きくかかわっていることを知り、自分達がそのような子供にどのように関わればよいのかを考える。

設問・回答例

Q1 華は、何を求めて保健室に来ているのでしょうか。

A1 寂しい、話し相手がいない、居場所がない、SOSを求めている等。

設問・回答例

Q2 華は、どのような問題を抱えていると思いますか。

A2

- ・身体面：貧血、OD、不定愁訴、う歯未治療、ダイエット（空腹、栄養失調の可能性もある）。
- ・精神面：摂食障害、孤独、孤立。
- ・生活面：ネグレクト、貧困、生活習慣、勉強の遅れ、意欲の低下、居場所がない。
- ・社会面：いじめ、友達がいない。
- ・それぞれの問題点が絡み合っていることに気づかせる。

❖ 議論を深める工夫や補足の設問

Q2のあとに、「クラスの子供が、華がクラスで噂されていることをあなた（担任・養護教諭・保護者等参加者の立場で考える）に話してきました。あなたならどのように子供に話をしますか」という設問を追加し、当事者となったらどう考えるかを参加者に迫るとよい。

設問・回答例

Q3 学校では、これからどうしたらよいでしょうか。

A3

- ・担任と養護教諭の情報共有。
- ・華に話をよく聞く（体調、家庭、母親の様子）。
- ・居場所、友人作り。
- ・母親との面談。
- ・福祉制度の紹介等福祉機関への紹介。
- ・友人への指導。
- ・自立に向けた指導。